

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 25. 11. 29 第 185 回国会第 11 号

11 月 29 日（金）、第 11 回の委員会が開かれました。

1 厚生労働関係の基本施策に関する件

- ・田村厚生労働大臣、櫻田文部科学副大臣、木原外務大臣政務官、赤石厚生労働大臣政務官、若宮防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

柚木道義君（民主）

- ・献血時の問診で献血者が虚偽申告をしたことにより輸血を受けた者が H I V に感染した事案を踏まえた今後の防止策について厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・献血事業に対する国民の理解・協力の促進や輸血による感染症の予防などを目的とした新たな法整備が必要と考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・働きながら家族を介護する労働者に対する支援策を充実させるため、介護する労働者のニーズの調査、介護休業給付の引上げや仕事と介護の両立に対する企業の理解を促進するための表彰制度などが必要と考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

長妻昭君（民主）

- ・全国の 1 人当たり国民医療費が長野県並みとなった場合全体で 1.9 兆円医療費が削減できるという推計についての厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・診療報酬の不正請求について、3 年の時効を理由に返還されていない事案の調査を行うべきではないか。
- ・厚生労働省の文書のうち、訓令に基づき秘密文書に指定している文書は 1 件だけで、部局の判断で秘密である旨を表示した行政文書を多数作成していることは問題ではないか。

中根康浩君（民主）

- ・今国会の所信表明演説で「難病対策はライフワークとも呼ぶべき仕事」と述べた安倍内閣総理大臣は、難病の医療費助成見直しに係る厚生労働省案を把握しているか。
- ・医療費の自己負担限度額を自立支援医療制度程度にする発言した理由について厚生労働大臣に伺いたい。
- ・自殺対策を推進する超党派議連からの予算確保の申入れに安倍内閣総理大臣が応じたとする報道から自殺につながる難病患者の負担増を撤回する必要があるのではないか。

新原秀人君（維新）

- ・H I V 感染が我が国で拡大している現状を踏まえ、今後厚生労働省はどのような対策に重点を置くのか伺いたい。
- ・大幅診療報酬改定が行われない中、医療従事者の給与の推移はどうなっているか。
- ・高齢化の進展に伴い医療と介護の連携がさらに重要となる中で、診療報酬と介護報酬の請求の簡略化等について厚生労働大臣の見解を伺いたい。

足立康史君（維新）

- ・医療機関の収益の大半は税金や保険料といった公費であるにもかかわらず、現在の医療制度の中では、経営力のある民間医療機関がその収益を関連会社に流出させ、関係者の収入とするようなことがあっても正当な行為として認められることを確認したい。また、医療費削減の観点から、この問題について厚生労働省内で検討すべきと考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

中島克仁君（みんな）

- ・特定行為に係る看護師の研修制度についてチーム医療の推進に関する検討会における議論の経緯と結果を伺いたい。
- ・チーム医療や地域包括ケアシステムの充実のためにも医師から看護師、看護師から介護福祉士への権限移譲を検討すべきと考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・国家安全保障政策の観点からテロや有事の際における医療体制の確保について伺いたい。

高橋 千鶴子君（共産）

- ・国連障害者の権利条約の意義について厚生労働大臣の認識及び今後の取組についての決意を伺いたい。
- ・精神障害者についての運賃割引制度の実施が身体障害者

や知的障害者に比べ遅れている現状を是正するために、厚生労働省が率先して関係各省と協議し、支援策を講じるべきだと考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

2 生活保護法の一部を改正する法律案（内閣提出第5号）（参議院送付）

生活困窮者自立支援法案（内閣提出第6号）（参議院送付）

- ・田村厚生労働大臣から提案理由の説明を聴取しました。